

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1047	柘植歴史民族資料館維持管理事業	会計	01	一般会計
基本施策	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	02	文化財保護費
担当部課名	教育委員会 伊賀分室		細目	102	文化施設維持管理事業
作成者氏名	藤岡雅之	連絡先	細々目	06	柘植歴史民族資料館維持管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	柘植歴史民族資料館を利用小とする市民	成果(どうなるのか)	資料館を利活用しようとする市民へのサービスが提供される
		業務従事者2名の雇用、各月催しの開催		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)		根拠法令・要綱等	
市内の類似施設	阿山資料館			

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	3,067	2,337	2,339
委託料			
賃金	2,588	2,109	2,109
報消費	108	100	100
その他	371	128	130
合計(A+B)	3,787	3,057	3,059
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,787	3,057	3,059
上記①～③に関する特記事項			
業務従事者2名(臨時職員)			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
入館者数	人	3437	3500	3500			
催物の開催回数	回	10	7	7			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
入館者数	企画展の年間開催回数は内容により異なるが、毎年同程度の入館者数を維持したい	人	3437	3500	3500
			目標 (3500)		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市内に存在する類似資料館の整理統合が必要である。しかし、その地域でしかない特色ある(松尾芭蕉、横光利一、橋本 策)素材、資料のあり方を、どこが、どう扱い、どう継続して行くのかを整理する必要がある。

評価	必要性	4	ふるさと学習や郷土史研究に役立てる事ができ、資料館展示支援団体【ランプの会】の協力を得、今後も企画展示を続けて行く。市民の文化意識の啓発に功績が認められる。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		